

平成 28 年度自己評価結果公表シート

学校法人 大阪愛徳学園
大阪愛徳幼稚園

○本園の教育目標

「神様を敬い、人々を愛する勇気ある子どもになりましょう。」を教育の目標として、子どもたち一人ひとりが世界でたった一人しかいない自分に気づき、神さまや周りの人たちから愛されていること、自分も人を大切にすることを学んでほしいと願い日々の保育に取り組む。

また、学校教育の目的、目標を達成するために次の基本方針によって幼児教育に取り組んでいる。

1. 健康と心身の調和的発達
2. 協調性と自主自立の精神
3. 道徳性の芽生え
4. 基本的生活習慣のしつけ
5. 豊かな情操

○今後 3 年間で達成することが必要と思われる評価項目と取り組み年度

<p>1. 災害時の園の新しいマニュアルの完成にともない実施を強化し、保護者との連携を強めるため、手段を講じ実施し、継続することにより、一層の子どもの安全につとめる。</p> <p>2. 正課の英語教室・体育教室の成果を保護者に浸透させる。</p> <p>3. 建学の精神（神を敬い人を愛する）の徹底に努める。</p> <p>4. 自園給食を通して、食の大切さ、食育の大切さ（心身の健康）について園児をはじめ、家庭に浸透させる。</p> <p>5. 教職員間の和と一致が子どもたちへの教育の原点になるとの意識を高めるため職員の心の教育にも力を入れている。</p> <p>6. 子育て支援の一貫である、未就園児親子教室や2歳児教室を充実させるための、細かなカリキュラムを立て、それにあたる。</p> <p>7. 縦割り保育の一層の充実を計ることで、子どもたちの上下の関わり、自主性、指導力等を高める。</p> <p>8. 音楽教室の一環である、和太鼓の充実をはかることで、精神教育を高める。その為に、ホールの防音設備の充実を実施する。</p> <p>9. 園の美化に努めることで、子どもたちが気持ちよく安全に生活出来る様、設備を整える。</p>	平成 26 年度
<p>1. 災害時の園の新しいマニュアルの完成にともない実施を強化し、保護者との連携を強めるため、手段を講じ実施し、継続することにより、一層の子どもの安全につとめる。AED等の設置を行う。</p> <p>2. 正課の英語教室・体育教室を取り入れることによる子どもの成長、成果を保護者に浸透させる。</p> <p>3. 建学の精神（神を敬い人を愛する心）の徹底に努める。</p> <p>4. 自園給食を通して、食の大切さ、食育の大切さ（心身の健康）について園児をはじめ、家庭に浸透させる。</p>	平成 27 年度

<p>5. 教職員間の和と一致が子どもたちへの教育の原点になるとの意識を高めるため職員の心の教育にも力を入れている。</p> <p>6. 子育て支援の一貫である、未就園児親子教室や2歳児教室を充実させるため、一層細かなカリキュラムを立てそれにあたる。</p> <p>7. 縦割り保育の一層の充実を計ることで、子どもたちの上下の関わり、自主性、指導力等を高める。</p> <p>8. 音楽教室の一環である、和太鼓の充実をはかることで、精神教育を高める。</p> <p>9. 子どもの体力、健康の向上のため、それらを育めることができるような園庭整備を実施する。</p> <p>10. 園の美化に努めることで、子どもたちが気持ちよく安全な幼稚園生活を送れる様に様々な設備を整える。</p>	
<p>1. 災害時の園の新しいマニュアルの完成にともない実施を強化し、保護者との連携を強めるため、手段を講じ実施し、継続することにより、一層の子どもの安全につとめる。AED等の設置を行う。</p> <p>2. 正課の英語教室・体育教室を取り入れることによる子どもの成長、成果を保護者に浸透させる。</p> <p>3. 建学の精神（神を敬い人を愛する心）の徹底に努める。</p> <p>4. 自園給食を通して、食の大切さ、食育の大切さ（心身の健康）について園児をはじめ、家庭に浸透させる。</p> <p>5. 教職員間の和と一致が子どもたちへの教育の原点になるとの意識を高めるため職員の心の教育にも力を入れている。</p> <p>6. 子育て支援の一貫である、未就園児親子教室や2歳児教室を充実させるため、一層細かなカリキュラムを立てそれにあたる。</p> <p>7. 縦割り保育の一層の充実を計ることで、子どもたちの上下の関わり、自主性、指導力等を高める。</p> <p>8. 音楽教室の一環である、和太鼓の充実をはかることで、精神教育を高める。</p> <p>9. 子どもの体力、健康の向上のため、それらを育めることができるような園庭整備を実施する。</p> <p>10. 園の美化に努めることで、子どもたちが気持ちよく安全な幼稚園生活を送れる様に様々な設備を整える。</p>	<p>平成 28 年度</p>

*平成 28 年度の自己評価

1. 災害時の度重なる訓練（地震・家事・防犯）を通して子どもたちの意識が高まり、迅速に行動できるようになった。また、交通安全のルールも園庭での訓練で身につけてきた。
2. 正課の体育を親が参観することで、意識は高まっている。また、子どもの体力向上にも寄与している。
3. 「はい、にこ、ぱぁ」と大きな声でのあいさつ、いつもにっこり、素早く行動を行い、いつも元気に友達との遊びを通し、いつも相手の立場を重んじれる優しい子どもになるよう、教職員をはじめ、子どもたちへの事ある度の講話、話をするにより浸透してきている。

4. 自園給食と度重なる参観を実施することで、子どもの好き嫌いは減少し、食育の大切さ(心身の健康)を家庭に浸透させることができた。
5. 教職員間の和と一致が、教育の原点であることの定義は、毎日の朝礼時での、短い話を通して浸透し、着実に意識は高まっている。
6. 親子教室、2歳児教室の充実を図るため、年少、年中、年長の行事にも参加させたり、2歳児教室では、運動会を企画したり、移動動物園の参加などを実施したりすることで、充実させることができた。
7. 預かり保育の充実は、園児の上下のかかわり、とりわけ年長児にとっては、自主性、指導力を高める良い機会となり、また年中、年少児も年長児の行動を体と心で見ることにより大きな成長の機会となっている。
8. 和太鼓など音楽を取り入れることにより、子どもの音感や集中力を養うのに大きな役割を果たせた。

* 学校関係者の評価

◎ 学校関係者から、教育・保育実勢は概ね妥当であると認められた。

創立して60年、キリスト教の精神に基づき豊かな人間性を育むように教育目標を設定し、園児の発達状況と保護者の理解と協力によって順調に保育実践が行われています。

園児の心身の健康を保つ為、様々な対策が取られており、とりわけ自園給食では、調理員と綿密な計画のもとメニューを作成し、アレルギー対策には力を注いでいます。

運動場に設置されていた遊具も新たに更新し、子どもの運動能力向上に適した遊具の導入に加え、小さいながらも菜園を整備し子どもの育ちを最重点に考え努力されています。

古くなった園舎の建替えに着手され、預かり保育室の充実など保護者も竣工を楽しみにしています。

また、保育室に空気洗浄機を設置するなどインフルエンザ対策、アレルギー対策にも取り組まれています。また、それぞれの園児の「既往歴」を把握し、園での感染予防のための知識の習得にも努力しています。

防犯カメラの設置、門扉のオートロックキーなど園児の安全性にも力がそそがれており、28年度は自動通報装置の導入など更なる防犯対策に取り組んでいる。

言葉づかいも丁寧で、園児や保護者への気配りも出来ており、毎年学校関係者や保護者から教職員は高い評価を得られています。